



第 37 号

令和元年9月1日

〒631-8524 奈良県奈良市中登美ヶ丘3-15-1

奈良文化女子短期大学
奈良学園大学奈良文化女子短期大学部

同窓会 まほろば
題字 名誉学長 足立 浩

母校 最後を迎えて



同窓会会長 池田 順子

九月に入ったとはいえ、暑さ厳しい毎日が続いておりませんが、会員の皆様におかれましては、つつがなくお過ごしのことと存じます。

さて、去る、三月十五日の母校最後の卒業式に出席させていただきました。一、二六名の卒業生を迎え、会員は、二五―四八名になったことをご報告いたします。

凛々しく澄んだ声で響く卒業生代表の言葉を聴きつつ、私自身も母校への様々な思い出と感謝の気持ちが甦ってまいりました。

午後の同窓会主催謝恩パーティには、同窓会への参加が初めての方々や、恩師の先生方がご出席くださり、思い出話に盛り上がり感無量でした。

一九六五年、大和高田市に初代理事長の伊瀬敏郎先生が「奈良文化女子短期大学」を創設され、私は、一期生として入学しました。建学の精神に「恵まれた自然環境の教育の場」、「豊富な文化財を教育の素材に」、「文化の香り高い堅実な日本女性を育成する」と謳われていた教育現場の中で育んでいただき、本当に充実した学生生活でした。その後、勤労学生にも門戸を開いてくださり、半世紀にわたって、社会の要請、情勢を鑑み、多彩な特徴ある学科を開設さ

れました。丁寧なご指導と温かい人間関係の中で学生を養成してくださり、多くの卒業生を社会に送り出してくださりました。今、私たちは、その恩恵のもと、家庭、地域、職場にて、様々な課題に向かつて、自らの努力と回りの協力を得て歩んでいます。これもひとえに歴代の理事長先生、学長先生をはじめ、恩師の先生方、学園関係御各位の御指導、御支援の賜物と感謝の気持ちでいっぱいです。

今後、私たちの母校は閉校となりましたが、「奈良学園大学同窓会」との連携を保ち、同窓会として節目節目の集まりや記念事業を通して、絆の輪を広げてまいりましょう。たくさんのお窓会開催案内や報告、同窓会への要望をお待ちしています。そして、叡智を寄せ合い、豊かで平和な家庭、社会を築いていけるように共に邁進してまいります。

同窓会総会のご案内

- 日時：令和元年10月27日（日）午前11時から
- 場所：奈良学園大学 登美ヶ丘キャンパス
アリーナ2階ミーティング室
- 議案：平成30年度決算報告
令和元年度予算について
同窓会の運営について

ホームカミングデーのご案内

- ホームカミングデーを集まるきっかけに、卒業後初めての、再会の同窓会を開催されませんか。多くの卒業生の皆様にお越しいただき、楽しいひとときをお過ごしいただきたくご案内申し上げます。
- 日時：令和元年10月27日（日）午前10時から午後4時まで
- 場所：奈良学園大学 登美ヶ丘キャンパス 学園祭（登美ヶ丘祭）

大学事務局からのお知らせ

卒業生の証明書等は、奈良学園大学が発行します。短大部HPでご確認又は右記にお問い合わせください。教務課Tel.0742-93-5406

例年のように、奈良学園大学「登美ヶ丘祭」は、短期大学部のホームカミングデーとなっております。役員一同、お待ちしております。お喜びです。

最後になりましたが、「学校法人奈良学園」並びに「同窓会まほろば」のますますの発展を願いますと共に、皆様の御多幸と御健康をお祈りしご挨拶いたします。



平成31年3月15日同窓会謝恩パーティ
於 ホテル日航奈良

ご挨拶

学校法人奈良学園 理事長 伊瀬 敏史



今日は卒業式に続いて記念パーティーや同窓会があり、心に残る一日でした。

同窓生の皆様にはますますお健やかに過ごしてのこととお慶び申し上げます。日頃はお母校に對しまして何かとご支援・ご鞭撻を賜り、心より御礼申し上げます。私も理事長に就任して二年目ですが学園の末永い発展のために日々尽力しております。

さて、奈良文化女子短期大学（以下、短期大学と略記）は本年三月に五十四年の歴史に幕を閉じました。平成三十一年三月十五日にホテル日航奈良において最後の卒業式を行い、百二十六名の学生たちが巣立ってゆきました。「個性尊重の温かい人間形成の場として、堅実にして良心的な教育を行う」の精神のもと二万五千四百四十八名の卒業生を送り出してきましたことは誠に尊いことでありました。歴代の学長および教職員各位に熱く厚く御礼申し上げます。

さて、短期大学の学舎は現在、本年度より学生募集を始めました奈良学園大学保健医療学部リハビリテーション学科となっており、新しい学生さん達が理学療法士や作業療法士を目指して勉強を始めています。リハビリテーション学科は半数程度が男子学生であり、まだ1年次生のみですがそれでもキャンパスは今までは少し変わった雰囲気となりました。また、三郷キャンパスで現在行っています人間教育学部が令和四年四月に登美ヶ丘キャンパスに移ってくることになりました。三年後には建物がさらに1棟新設されて約六百名の学生たちが三郷から移って来る予定で、保健医療学部看護学科の学生と併せますと大学生は約千二百名となり、キャンパスも一層にぎやかになります。人間教育学部は幼稚園専修、小学校専修、中等国語専修、中等数学専修、中等音楽専修があり、幼稚園から高等学校までの各校種の教員免許を取得して教師を目指す学部となっています。

指す学部となっています。いずれの学部も一人一人の学生に寄り添ったきめ細かい教育を特徴としています。このように短期大学の教育内容と建学の精神は着実に奈良学園大学に受け継がれています。

本年は人類が初めて月面に降り立つてから五十年目の年ですが、再び月探査の機運も盛り上がり、「はやぶさ2」による

奈良学園大学に継承されること

元奈良学園大学奈良文化女子短期大学 学長 奈良学園大学人間教育学部 教授 吉田 明史



る小惑星探査も順調に進んでおり、明るい夢のある話題が多々聞かれます。奈良学園も幼稚園、小学校、中学校、高等学校をそして大学、大学院で四千百名を超える若者の学び舎として未来社会に雄飛する人財を育ててまいります。同窓生の皆様におかれましては、変わらぬご支援・ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

私は、中学校及び高等学校の数学科の教員養成をする、「中等教育専攻数学専修」に所属し、科目「数学の世界」「数学入門」「数学科教育法」「基礎ゼミ」などを担当しております。短期大学・短期大学部にいた頃は、学生のニーズに合わせて、保育にかかわる教育・研究を進めていましたが、今は、元々の研究分野である数学教育に関わる教育・研究に舵を取り直し、新たな気持で「数学的活動」「評価」「教材」などをキーワードに研究しているところです。

同窓会の皆様、お元気で過ごしてはいかがでしょうか。学校法人奈良学園の高等教育を先導していた奈良文化女子短期大学（部）が閉校になり、はや五ヶ月が経ちました。最後の学位授与式・卒業式、それに引き続いて行われた祝賀パーティー、同窓会は、とても印象に残るものでした。皆様の温かいご支援を得て、このような貴重な経験をさせていただいたこ

とに感謝いたします。私は、現在、奈良学園大学人間教育学部（三郷キャンパス）に勤務しておりますが、週に一度、保健医療学部の授業（教養科目「数学の世界」）のために、登美ヶ丘キャンパスに行くことがあります。僅か数ヶ月ですが、キャンパスの佇まいに昨年までの短大教育を懐かしく思い出しています。

人間教育学部では、将来、子どもに向き合える教員、継続して教育・研究する教員、指導力を発揮できる教員として活躍できるよう、三つの力（豊かな人間力）「高度な実践力」「柔軟な教育力」をもった人間の育成を図っています。これらは、幼児教育を主としていた短期大学・短期大学版における教育の初等中等教育とも考えられるもので、いわば教育の不易な部分と言え

三郷キャンパスでは、私が、短期大学・短期大学部で一緒に勤務させていただいた、善野八千子先生、青山雅哉先生、林悠子先生、高岡昌子先生、岩本健一先生、高橋千香子先生（着任順）がおられ、行事・

三郷キャンパスでは、私が、短期大学・短期大学部で一緒に勤務させていただいた、善野八千子先生、青山雅哉先生、林悠子先生、高岡昌子先生、岩本健一先生、高橋千香子先生（着任順）がおられ、行事・

三郷キャンパスでは、私が、短期大学・短期大学部で一緒に勤務させていただいた、善野八千子先生、青山雅哉先生、林悠子先生、高岡昌子先生、岩本健一先生、高橋千香子先生（着任順）がおられ、行事・

ます。国レベルにおいても、初等中等教育では、「主体的・対話的で深い学び」の実現が重要であると提言されていて、それを実現するためには、先ほどの三つの力をもった教員が必要となっています。さらにそれに加えて、本学園の高等教育の伝統である「きめ細やかな教育」を継続し、学生の満足度を向上させるための取組も続けているところです。

令和四（二〇二二）年四月からは、人間教育学部の教育・研究も登美ヶ丘キャンパスで行うことになっていきます。このことによつて、登美ヶ丘キャンパスには幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、大学院がそろい、大学の教育・研究の幅が一層拡がること期待されます。

母校はなくなりましたが、その教育の伝統は人間教育学部の教育に著実に受け継がれています。二万五千人を超える同窓会の皆様にごのこごのこご理解いただき、奈良学園大学の教育のよさを知人等に啓発していただければと思います。

今後とも温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げますとともに、同窓会として、ますます発展されることをお祈りします。

「ぶんとん」での驚き

元 幼児教育学科学科長

奈良学園大学 特別客員教授 磯辺 ゆう



卒業生の皆様、お変わりありませんでしょうか。私は家に落ち着き、畑の草引きや猫の世話の毎日です。その中で文短での十五年を思い起こせば、印象深かったこと、驚いたことがいくつもありました。

その一は、赴任したその日、高田川の桜がみごとだったことです。青空の満開の桜でした。その後毎年桜吹雪が楽しみでした。その二は、最初の教授会で学歌を歌う練習をしたことです。教授会での練習にも驚きましたが、何よりもその歌が素晴らしく、入学式、卒業式に歌う度に、思いを深くしました。近年入学式では上級生がリードし、卒業式では卒業生の美しい歌声が会場を一杯にしていました。学歌は今登美ヶ丘の短大卒業生による記念碑の中に記されています。

その三は、教員は赴任後すぐにアドバイザーになることで特に入学式以降のAGHでは何もわからない状態で大変でした。先生方には大変お世話になりました。また担任の学生に助けてもらって最初の一年を乗り切りました。その四は、授業中に質問をすると必ず誰かが（多くの場合複数）返事をしてくれることでした。反応があるということは授業をしている側からすると大変嬉しいことで、そこから新たな展開が始まります。これは「ぶんとん」生の大きな美質と思えます。その五は、高田に実に立派な実験室があったことです。それは元食物栄養学科の化学実験室と調理実習室で、使わなくなっていました。私が、私は生物学の実習室にさせて頂きました。高田から登美ヶ丘に引っ越す時、調理道具を除く実験道具類は学園各校で引き取られるもの以外全て廃棄の指示の中で、最低限度ながら、登美ヶ丘に持つてきました。こうした道具に触れることが学生の皆さんにとつて大切だと思ったからで

す。一方、初等教育学科の古い実験室は、引越す時になって初めて知りましたが、古い顕微鏡も沢山あり、改めて驚きました。私は前任校から頂いた顕微鏡や短大で購入したものを使っていましたので知らないままだったのです。この時実験室の鳥の剥製と牛の頭骨を頂き、それらは登美ヶ丘でのミニ博物館の土台となりました。ミニ博物館は、現在奈良学園大学事務局入口横に展示されている大和出雲人形他をはじめとして、化石から民俗楽器、木のおもちゃ等々広範囲な内容となり、授業で使用する以外にも公開講座や学園祭で展示を行い親子の皆さんに楽しんで頂きました。これらは現在、多くが奈良学園小学校、一部が奈良学園大学人間教育学部、奈良文化幼稚園、奈良学園幼稚園に引き取られ、お役に立てることになりました。その六は、音楽学科由来の楽器と、グラランドピアノの多さです。登美ヶ丘では各所にグラランドピアノが置かれ、折に触れ学生が練習する音が聞こえ、大変豊かな気持ちになりました。ピアノの一部は現在高田の奈良文化高等学校に引き取られ、やはり自由に弾くことができるように設置されているのを知り、心から喜んで

います。その七は、高田キャンパスの植栽が特別な輝きを持っていることです。この植栽は高田キャンパス初期に整備されたものです。奈良文化高校の建て替え時にも多くが残され、今も豊かなキャンパス環境を形成しており、懐かしい気持ちにもさせてくれます。この植栽を生かした奈良文化高校の取組が評価され、第七十回全国植樹祭に招待されました。私もその一端として植樹祭に参加させて頂けたことは大変有難いことです。その八は、高田市と短大という場所そのもので、ここで世界が広がったように思います。それまでいた奈良市から感じる世界と南の高田から見える世界が違うことも発見でしたが、文短で出会った学生や、先生方はそれまでの私の世界からは大きく異なる専門分野であり、特性をもった方々でした。ここで私はかなり自由になったような気がしています。登美ヶ丘での十年は幼児教育だけの短大でしたが、その間にも学生の皆さんはぐんぐん力をつけ、最後の卒業式ですばらしい歌声を聞かせてくれました。私にとつて、「ぶんとん」で卒業生の皆さん、先生方、事務の皆さんと共に過ごせたことは大きな財産です。ありがとうございました。同窓会の皆さん、これからもよろしくお願ひいたします。



さようなら 奈良学園大学奈良文化女子短期大学部 54年の歴史に幕を閉じる
平成31年3月15日 最後の卒業生 126名卒業



第53回卒業証書・学位記授与式
於 ホテル日航奈良



平成三十一年三月十五日 卒業生の言葉

卒業生代表 伊藤 晃代



厳しかった寒さの中に、春のあたたかな気配を感じる季節となりました。旅立ちの春を迎え、新しい季節と環境に期待を膨らませながら、日増しに慶びが大きくなっていきます。この度は、私たち卒業生のために、盛大な式典を催していただき、誠に有難うございます。二年、もしくは三年前、私たちは期待と不安をもって、奈良学園大学奈良文化女子短期大学の門をくぐりました。私たち学生は、一人ひとり違う家庭で育ち、多彩な価値の中、ぶつかりながらも、これまで共に切磋琢磨してきました。私たちは、一人ひとりが本当に個性的で、手に余る想いをされていたこともあればありますが、この大学に入って、それでも見放さないで指導して下さった先生がいっぱいいました。

厳しかった寒さの中に、春のあたたかな気配を感じる季節となりました。旅立ちの春を迎え、新しい季節と環境に期待を膨らませながら、日増しに慶びが大きくなっていきます。この度は、私たち卒業生のために、盛大な式典を催していただき、誠に有難うございます。二年、もしくは三年前、私たちは期待と不安をもって、奈良学園大学奈良文化女子短期大学の門をくぐりました。私たち学生は、一人ひとり違う家庭で育ち、多彩な価値の中、ぶつかりながらも、これまで共に切磋琢磨してきました。私たちは、一人ひとりが本当に個性的で、手に余る想いをされていたこともあればありますが、この大学に入って、それでも見放さないで指導して下さった先生がいっぱいいました。

厳しかった寒さの中に、春のあたたかな気配を感じる季節となりました。旅立ちの春を迎え、新しい季節と環境に期待を膨らませながら、日増しに慶びが大きくなっていきます。この度は、私たち卒業生のために、盛大な式典を催していただき、誠に有難うございます。二年、もしくは三年前、私たちは期待と不安をもって、奈良学園大学奈良文化女子短期大学の門をくぐりました。私たち学生は、一人ひとり違う家庭で育ち、多彩な価値の中、ぶつかりながらも、これまで共に切磋琢磨してきました。私たちは、一人ひとりが本当に個性的で、手に余る想いをされていたこともあればありますが、この大学に入って、それでも見放さないで指導して下さった先生がいっぱいいました。

短大生活を思い返してみると、学園祭とフェスティバルの二大行事が頭に浮かびます。今年、短期大学部にとって最後の学園祭になるため、一層楽しく、また悔いの残らないようにと、試行錯誤を繰り返しながら創り上げていきました。当日は、天気にも恵まれ一九〇〇名もの来場者を迎え、たくさん笑顔と活気に満ち溢れた学園祭にすることができました。四二回目となるフェスティバルでは、幼児教育学科の最後の舞台として、一層力を入れ、練習を

重ねました。どのように発表するか悩み、意見がすれ違うこともありましたが、相手が思いが伝わらず、言い合いをしたり、ギクシャクしたときもありました。けれど、そんな日々を乗り越えたからこそ、私たちの集大成を舞台の上で表現できたと思います。フェスティバル後もたくさんさんの激励の言葉を頂き、胸が熱くなり、練習の日々を誇りに思えました。もちろん、学生生活は大きな行事だけではありません。日々の授業で学んだこと、実習によって学んだこと、たくさんあります。また、子どもだった私たちに親身に寄り添い、楽しく、時には、厳しく指導して下さった先生方のお言葉や授業など、忘れることはありません。耳を塞ぎ、受け入れ難かったお言葉も、これから社会を経験して、いつか、先生方のお言葉を理解する日がくるでしょう。社会に参加していく中で、先生方からいただいた沢山のものを私たちは社会に還元していくような人材になつていくと自信をもって言えます。先生方も自信をもって、私たちを社会に送り出してください。保育者という仕事は、次世代の成長の手助けに携わる大切な職業です。正解も不正解もありません。ゴールもあ

りません。短大生活で学んだことが全てではなく、保育技術の向上のために日々精進していかなければなりません。自分たちの責任の重さやなすべきことを忘れずにこれから学び続ける姿勢を忘れず、いたいと思います。そして、温かく見守ってくださった保護者の皆様へ、私たちと手を繋いで歩いてくれた幼少期から、いいえ、私たちが生まれる前から、卒業を迎え、晴れ着を着ている今まで、大切に育ててくれてありがとうございます。これまで、たくさん反発したこともありましたが、しかし、一緒に喜びを共有したことの方が多くありました。今まで、本当にたくさんの時間と感情を共有してきました。そんな存在が私たちは当たり前のようには思っていました。しかし、私たちは、この卒業という日を迎え、これから自分で、社会と向き合います。隣に幼少期に手を引いてくれた家族は、もういません。自分の足で歩いていかなければなりません。初めての経験をすることで、不安で泣きそうになる時もあるでしょう。逃げ出してしまいたい。そんなときもあるでしょう。それでも、立ち向かわなければなりません。そんなときは、

どんな時も味方でいてくれた温かい家族の存在を思い出して、力にしたいと思えます。これから私たちはそれぞれの道に希望と不安を抱えながら進んでいきます。しかし、卒業という日は、さようならではなく始まりの日です。ここにいる卒業生一人ひとりが、それぞれの思いを持ち、前に向かって進みます。学んだことを思い起こし、今までに得た様々なものを糧にして、自分の道を一步一步しっかりと進んでいこうと思えます。この卒業をもって、長い歴史を築いてきた奈良学園大学奈良文化女子短期大学の幕が降ります。今、この短期大学の最後の学生として、大学とともに高く飛び立っていくことを胸に刻んでいます。可能で



卒業記念パーティ

私が音楽学科1期生として入学したのは四十七年前ですが、高校から音楽を習っていた宮田和先生の「ぼくも行くからいいじゃないか」という神の仰せのような一言で入学を決め、生まれて初めて高田市駅に降り立ったのがまるで昨日のことのように思い出されます。

真新しい音楽棟、先生方も学生も初めてづくしの中で、本当にのびのびと日々を過ごしました。創立十周年記念の奈良文化会館での演奏会、壺阪寺への慰問、寮生活、下宿通学でのこと等々、思い出が



昭和五十一年専攻科音楽専攻修了

高橋(宇田川) 孝子

もっと学びたい 仲間とともに

あれば、ここにいるみんなともう一度、時間を共有できる日と心の底から願ってしまえばかりです。この大学で出会った先生方、そして今隣にいる同士と出会えたことに感謝を込め、皆様方のますますのご活躍とご多幸とご健康をお祈りして卒業生の言葉とさせていただきます。

いっぱい詰まった充実した短大生活でした。ピアノの上平文子先生は、お優しくて真つ赤なマニキュアが印象的でした。制服を着る気のない私たちの担任として困られたこともあったでしょうに、いつも私たちの味方をしてくださいました。どの先生方も皆、本当に親身になって教えてくださり、感謝の言葉しかありません。

音楽の楽しさ、奥深さを知った私たちは、二年間しか学べないことが残念でたまりませんでした。そこで学科長であられた宮田先生の所に数人で「四年制の大学にしてください！」と直談判に行きました。その結果かどうかは分かりませんが専攻科ができ、同じ思いを持った半数弱の学生が専攻科に残りました。私はその後、他の大学で単位を



ミュージズの会

とったりしながら中学校の教員を続け、校長を退職後、社会人の大学院に行きました。私が学び続けようとする原動力になっているのは、もっと学びたいと仲間と頼み込んだあの時の気持ちです。音楽学科がなくなつたのを知った時は本当に悲しかったですが、新たに音楽の教員免許をとれる学部ができたとのこと。四十三年後にやっと願いが叶った気がいたしました。

音楽学科1期生はミュージズの会と名付けて期の同窓会を開いています。お互いの今を聞くにつけ、本学で学んだことが、その後のそれぞれの人生の礎になっているように感じています。奈良文化女子短期大学音楽学科に関わってくださつた皆様方、本当にありがとうございました。

一部自治会「四十二年ぶりの親睦旅行」

昭和五十四年初等教育学科卒業

成瀬(沢田) 恵美子



中央 成瀬

などを歌いまくり、踊りまくり、あつという間の三時間を過ごしました。部屋に戻ってからは、当時の自治会活動の話、クラスメイト、寮や部活の話、同窓会まほろばの三周年、五十周年記念式典の話など、次から次へと思いつ話に花が咲きました。

五十周年の時は、役員と有志、小川純子先生の総勢十六名で、「愛・FAMILY」というチームを結成し、「新入生歓迎の集い」や、芸能人を呼ぶことができなかった時代の「手作り学園祭」を再現し、寸劇、歌、ダンス、体操を披露させていただいたことは、感激とともによい思い出です。

二日目は、伊勢神宮にお参りし、「おかげ横丁」の散策を楽しみました。

この旅行は、私たちの四十二年間の絆を深める有意義な、幸せな一日間でした。

この仲間のつながりが、これからも続き、同窓生の集まりの中で、私たちが何か楽しいことができたらと考えています。母校は閉校となり、「奈

良文化」の名はなくなりましたが、母校への思いは、楽しい思い出とともにこれからも持ち続けていきたいと思えます。



昭和52年度 第一部自治会



50周年記念祝賀会 愛・FAMILY



『とりあえずの同窓会』を開催して

昭和五十七年初等教育学科卒業

奥田(大川) 真里

奈良、高田の地で共に学び、同じ時を過ごした皆様、その後いかがお過ごしでしょうか。皆様それぞれの人生を歩んでおられることと思います。

その後つきあいのある友達、そうでない人たち、年賀状もいっしょか途絶えてしまった友人。もう会うことはないのかなと、ふと寂しく思いながらも、日々の忙しさに流されていました。何年前かに、高田の東中に行ってみますと、短大の校舎はなく、付属高校として増改築された校舎がありました。年をとった証拠か、皆でまた集まりたい、懐かしい顔が見たい、そんな気持ちはずっと心の片隅にありました。昨年、届いた会誌「まほろば」で母校の閉校を知り、同窓会総会に出席しました。目的は、とにかくⅡ初B同窓会を開く手立てはないものか相談したかったのです。手がかりは、手元にある一回生のときのクラス名簿です。手を尽くして、五十七名中四十名の方にトナリエ大和高田(昔のオークタウンです。)で「いろいろご都合

もっておりと存じますが、とり

あえず、一度集まりませんか。という「とりあえずの同窓会」開催のお手紙を出させていだきました。当日は八名が集合し、三十六年ぶりの同窓会は、思い出話に楽しいひと時を過ごすことができました。今回は、準備の会でしたので、当日、都合が付かなかった人達も、「次回は必ず！」とお返事をいただき、現在のところ計三十六名の方と、連絡がついています。三年後の再会を約束して、「還暦同窓会」を開催する予定です。その時には、更に住所不明の方々にもなんとか連絡をつけたいと願っています。



とりあえずの同窓会
平成31年4月14日
前列右端 奥田(大川)さん

思い出は桜とともに整理整とん

昭和五十三年教養学科卒業

柘田(松本) 昌子



昭和五十一年四月高田川沿

い満開の桜の季節、入学式を迎えました。かつらぎ寮二二二号室は、恭ちゃん先輩と淑美ちゃんと美ちゃん、それに私。京都、広島、愛媛、和歌山それぞれの方言飛びかう四人部屋でした。臨地講義には、先輩にお弁当を作ってもらって、いざ出発。土井実先生と明日香へ、宮地たか先生とは山の辺の道へと、万葉の歌碑を巡り、拓本をとり、楽しい思い出です。部活は「新入生歓迎の集い」の「今年の桜」に魅せられて、邦楽部に所属し、素敵な出会いに恵まれました。奈良文化会館での演奏のあと、少し遊んで、もちろん寮へは、門限遅刻届を出して、高田市駅からタクシー、定番行動です。興奮きみのお嬢さんたちを乗せたタクシーの中、「大学の門から寮の門までの遠いこと。」と思った瞬間、

智ちゃんが叫びました。「運転手さん、ジャンプ！」大学の門のところで降ろされたのですが、運転手さんも皆も爆笑です。笑いながら寮まで走りました。

寮では、ちょうど友和百恵の赤いシリーズのころ、真つ暗にした食堂の小さな赤いテレビにくぎ付けの私たち。なぜそんなに夢中になったのか、皆が夢見、涙するかわいい乙女でした。

昼食は、「あけほのパン」の揚げあんパンとポテサラのサンドイッチ、時々無性に食べたくなる揚げあんパンは、懐かしい味です。寮生四百名という時代でした。橋本登喜子先生は寮長先生。化粧をし、爪のマニキュア、スリットのはいつたタイトスカートにハイヒールの先輩方は、とてもすてきなお姉さま。寒い冬、寮に帰れば、綿入れ絆纏で、闊歩する。よく晴れた日には、競つて、布団干し。雨が降れば、授業中であろうと、寮に猛ダッシュ。許可をくださったのは、民俗学の原泰根先生であった

かと、笑う思い出です。

先輩の卒業を目前に、四人で能登、金沢へと思い出の旅にでました。白いベレー帽に赤いコート、黒のロングブーツの私。そうそうみんなロングブーツでした。いろんなことがあつた十代最後の思い出です。

二回生の十二月末、小田基彦先生のゼミ生は、熊野那智大社で巫女さんのバイト。袴のすそざばきの難しさと、眠けと闘いながら過ごした体験は、それぞれの進路へと繋がるものとなりました。

卒業後、母校に勤務することになり、この三月、母校の閉校とともに退職するまで、まさかまさかの四十一年でした。母校は、大和高田市東中から奈良市登美ヶ丘へ移転し、十年余りで閉校。いろいろなことがありましたが、いつも高田の桜は、記憶の中に彩を添えてくれました。登美ヶ丘キャンパスも、卒業生の記念植樹の桜が、一本一本と増えて、薄紅色に春を彩るようになりました。そして、最後に、桜の季節に幕をおろしました。「大和は国のまほろば たなづく 青垣 山ごもれる 大和しうるわし」 一期一会、先生方、同窓生の皆さん、たくさん思い出と幸せな時間を有難うございました。

あの高田の桜との出会いがなければ、今もなく、人生の三分の二以上を奈良の地にすることはありませんでした。二毛作めの人生をどう生きるか戸惑いつつも、季節の移ろいに身を置くことのできる日々を楽しんでいます。

【思い出のアルバム】



同窓会三十周年記念式典 左から 桜井秀子副会長 橋本登喜子先生 中村章太郎先生 足立浩先生 廣吉壽彦先生 植田俊治先生 柘田役員

奈良学園大学奈良文化女子短期大学部学歌

Music score for 'Nara Gakuin University Nara Cultural Women's Short-Term University Song' with lyrics in Japanese.

かつらぎ寮歌

Music score for 'Katsuragi Dormitory Song' with lyrics in Japanese.



平成 30 年度の同窓会決算及び令和元年度同窓会予算について下記のとおり報告します。

会計報告

平成30年度 同窓会決算書

令和元年(平成31年)度 同窓会予算書

(収入の部)

(収入の部)

Table with 2 columns: 項目, 金額(円). Rows include 前年度繰越金, 会費, 寄付, 雑収入, 利息, 合計.

Table with 2 columns: 項目, 金額(円). Rows include 前年度繰越金, 寄付, 会費, 利息, 合計.

(支出・資産の部)

(支出・資産の部)

Table with 3 columns: 項目, 金額(円), 備考. Rows include 事務局費, 事業費, 備品費, 通信費, 印刷費, 光熱水費, 慶弔費, 予備費, 小計, 定期性預金, 普通預金, 小計, 合計.

Table with 3 columns: 項目, 金額(円), 備考. Rows include 事務局費, 事業費, 備品費, 通信費, 印刷費, 光熱水費, 慶弔費, 予備費, 小計, 定期性預金, 普通預金, 小計, 合計.

奈良文化女子短期大学 奈良学園奈良文化女子短期大学部同窓会の平成30年度の経理について監査いたしましたところ、その内容は適切なものと認めます。

平成 31 年 4 月 1 日
会計監査 新谷 初予
会計監査 岡部 りり子

平成30年度 会務報告

- 5月26日 役員会平成30年度事業について
7月22日 昭和53.54年卒業同窓会 役員出席
9月1日 同窓会会誌まほろば発行
10月28日 役員会
同窓会総会・ホームカミングデー
学園祭こども動物園提供
3月15日 母校 卒業証書・学位記授与式
卒業記念パーティ・謝恩会
卒業記念品贈呈

退職
飯田 中 小 恒 磯
田 田 川 岡 辺
恵 美 章 純 宗 ゆ
子 子 子 子 う
先 先 先 先 先
生 生 生 生 生
奈良学園大学へ異動
お祈り申し上げます。

謹んでご冥福を
お祈りいたします
前川 貞子 先生(幼児教育学科)
平成30年9月ご逝去
金春 隆子 先生(食物栄養学科)
平成30年11月17日ご逝去
南 乾三 先生(事務局)
平成30年11月13日ご逝去

STAFF EDITORS

- 池田 順子・櫻井 秀子
赤崎 良子・杉本 昭子
坪井 佳子・枅田 昌子
新谷 初予・岡部 りり子
唐戸 栄子・原田 静枝
成瀬恵美子・牧浦 信恵
西井 祐子

同窓会事務局 移転のお知らせ

事務局は、登美ヶ丘キャンパス1号館2階から アリーナ2階に移転しました。
〒631-8524 奈良市中登美ヶ丘3-15-1 同窓会まほろば事務局
TEL 0742-47-2260 営業日：原則水曜日午前中のみです。(変更あり)

住所変更(会誌送付先変更)・送付停止連絡

大学事務局は受付できません。同窓会事務局宛郵送又はメールでお知らせいただければ幸いです。
mail : nwc-mahoroba@nara-su.ac.jp ※奈良学園大学奈良文化女子短期大学部HP参照